

# 都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和7年11月調査)

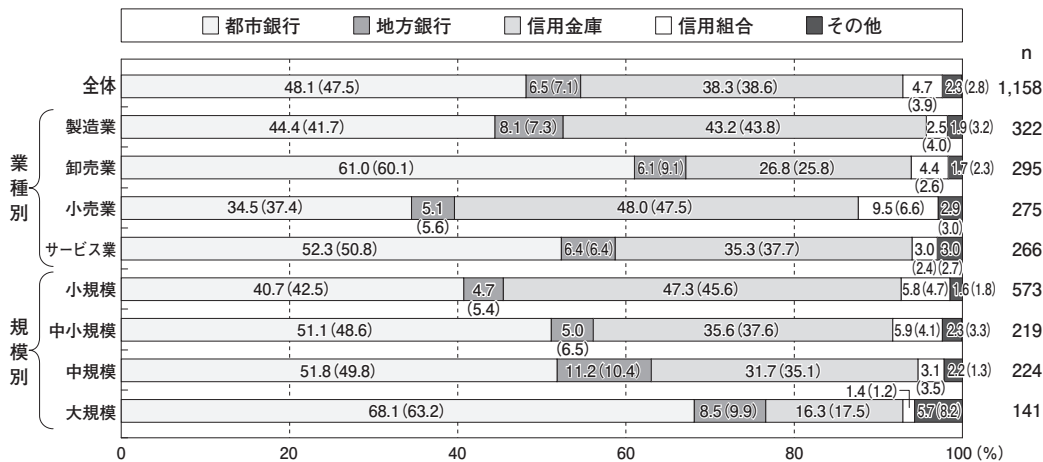
## 1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が48.1%（前回調査47.5%）と最も高く、「信用金庫」が38.3%（同38.6%）、「地方銀行」が6.5%（同7.1%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「都市銀行」の61.0%（同60.1%）、製造業は「地方銀行」の8.1%（7.3%）、小売業は「信用金庫」の48.0%（同47.5%）と「信用組合」の9.5%（同6.6%）がそれぞれ高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は68.1%（同63.2%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和7年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

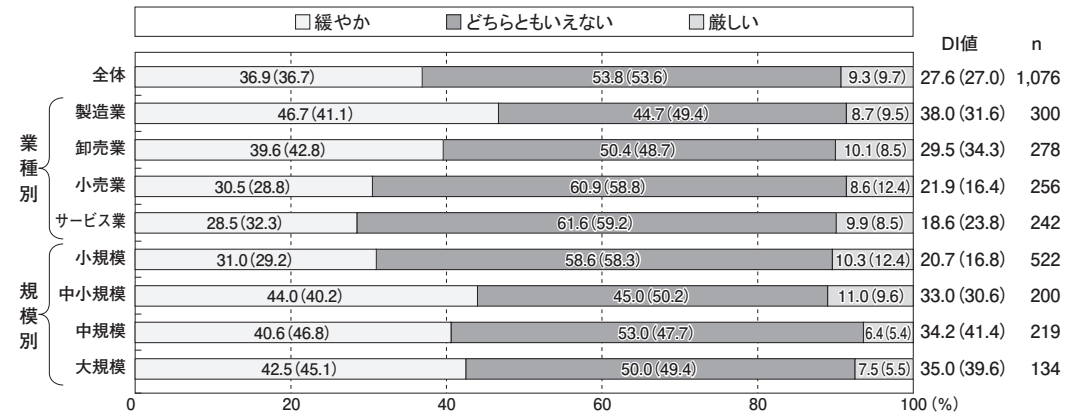
## 2. 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」 - 「厳しい」）で見ると、全体では27.6（前回調査27.0）となり、前回調査と比べて0.6ポイント増加した。

業種別にDI値をみると、製造業38.0（同31.6）は6.4ポイント増加、小売業21.9（同16.4）は5.5ポイント増加した。

規模別にDI値をみると、小規模20.7（同16.8）は3.9ポイント増加、中小規模33.0（同30.6）は2.4ポイント増加した。

図表2 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和7年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 3. 主な取引金融機関からの借入金利

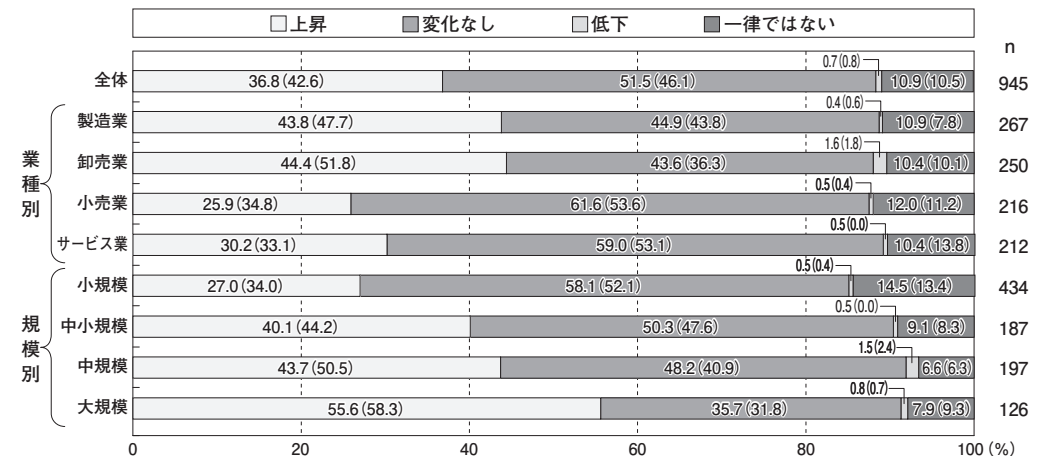
### (1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が51.5%（前回調査46.1%）と最も高く、「上昇」が36.8%（同42.6%）、「低下」が0.7%（同0.8%）の順で続いた。

業種別にみると、卸売業は「上昇」が44.4%（同51.8%）となった。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「上昇」が高くなり、大規模は55.6%（同58.3%）となった。

図表3 金利傾向



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和7年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

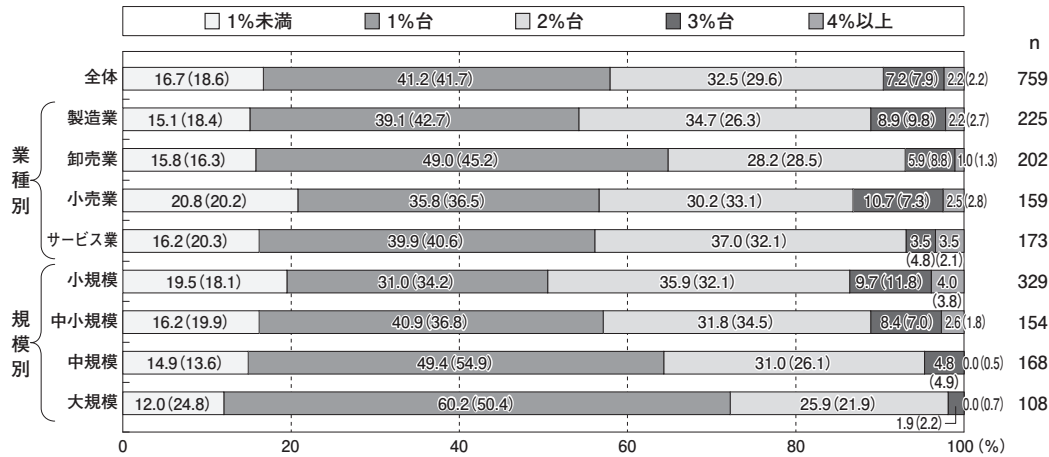
## (2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1%台」が41.2%（前回調査41.7%）と最も高く、「2%台」が32.5%（同29.6%）、「1%未満」が16.7%（同18.6%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は2%以上の割合が45.8%（同38.8%）と高い。

規模別にみると、規模が小さくなるほど2%以上の割合が高くなり、小規模は49.6%（同47.7%）となった。

図表4 金利水準



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和7年5月)の数値。3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 4. 資金需要

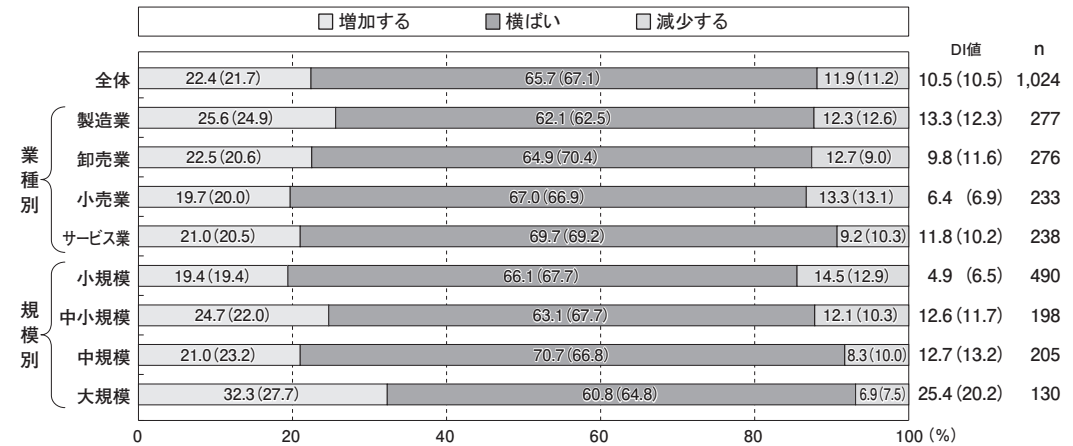
### (1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では10.5（前回調査10.5）となり、前回調査と比べて横ばいで推移した。

業種別にDI値をみると、サービス業11.8（同10.2）は1.6ポイント増加、製造業13.3（同12.3）は1.0ポイント増加した。一方、卸売業9.8（同11.6）は1.8ポイント減少、小売業6.4（同6.9）は0.5ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、大規模25.4（同20.2）は5.2ポイント増加した。一方、小規模4.9（同6.5）は1.6ポイント減少した。

図表5 資金需要（今後3か月間）

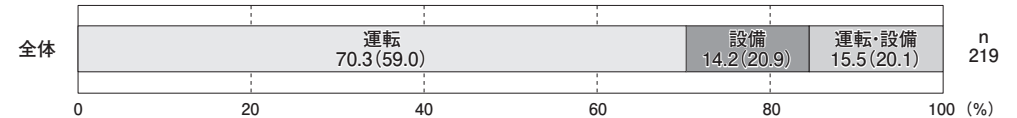


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和7年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (2) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が70.3%（前回調査59.0%）と最も高く、「運転・設備」が15.5%（同20.1%）、「設備」が14.2%（同20.9%）の順となった。前回調査と比べて「運転」は11.3ポイント増加し、「設備」は6.7ポイント減少した。

図表6 資金使途

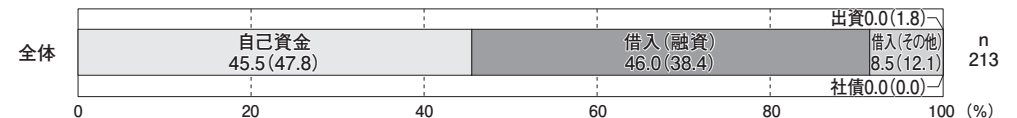


注) 資金需要（今後3か月間）(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。( )内は前回調査(令和7年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「借入（融資）」が46.0%（前回調査38.4%）と最も高く、次いで「自己資金」が45.5%（同47.8%）となった。前回調査と比べて「借入（融資）」は7.6ポイント増加し、「自己資金」は2.3ポイント減少した。

図表7 調達手段



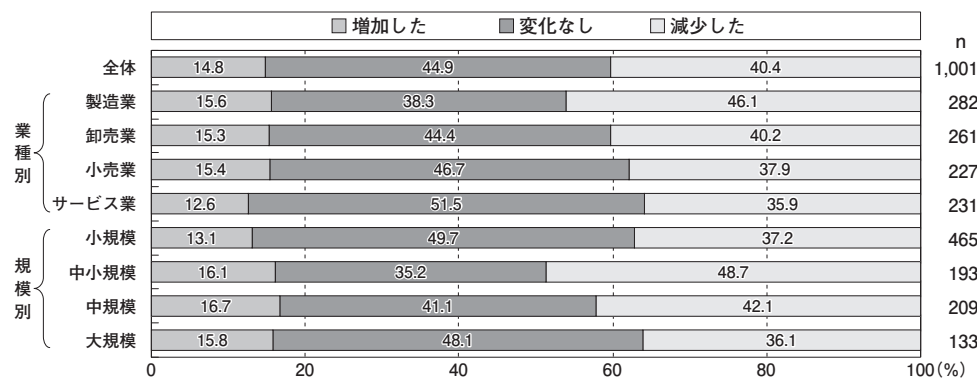
注) 資金需要（今後3か月間）(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。( )内は前回調査(令和7年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 5. 金融機関からの借入金総額の状況

### (1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が44.9%と最も高く、「減少した」が40.4%の順となった。業種別にみると、他の業種に比べて製造業の「減少した」は46.1%と高い。規模別にみると、小規模は「変化なし」が49.7%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

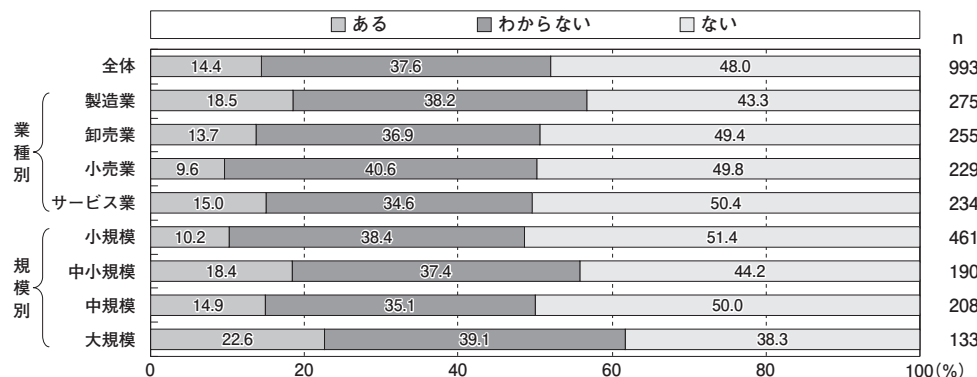
### (2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が48.0%と最も高く、「わからない」が37.6%、「ある」が14.4%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「ある」の18.5%、サービス業は「ない」の50.4%が高い。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模の「ある」は22.6%と高い。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。